

△市内金融機関で開かれている交通事故写真展

都留市内では、今年になって交通事故で亡くなった人が十人、四十三年以来の最悪のペースとなっています。何が原因か？市民みんなでもう一度考えてみましょう。

十件の死亡事故をみると、半数以上が自爆型で若年運転者による事故も半数以上であります。

直接の事故原因は、スピードの出し過ぎ四件、脇見運転四件、安全不確認一件、操作不適一件となっています。そして当事者のいづれかは都留市の人で特に第一当事者（事故の直接の当事者）が十件中七件が本市の人です。ようす

るに、都留市の人々が交通ルール、マナーを守れば、事故はほとんど起こらないで済んだのではないのでしょうか。

### 交通事故をなくそう!!

市では、五月九日に交通事故多発非常事態宣言大会を開き、市交通対策本部、都留署、安協都留支部との連携で交通事故絶滅を呼び掛けました。

都留警察署でも、八月十二日から九月十六日までの三十日間を「ストツプ・ザ・交通

死亡事故三十日連続非常警戒特別対策」に設定し、街頭監視、交通取締まりを行いました。このほか、交通安全協会、安全運転管理者等協議会、交通安全対策本部、女性ドライバーの会、婦人会、各事業所、各学校等でそれぞれの立場で交通安全について呼びかけを行っています。

こうした呼びかけも空しく交通事故は後をたたず、ついに九月十日の事故で十人もの尊い命が失われてしまいました。



交通事故は、誰が悪いのもなく、本人の責任によります。事故があつて喜ぶ人は誰もいません。自分自身が気をつけ、交通ルールを守りましょう。



◀富士急行線駅八ヶ所で黄色い羽根の配布

## なぜ、交通事故が このも多いのか!?

### 全戸リレー宣言

市では、交通死亡事故に歯止めを掛けるべく、各自治会の組長さんをおし、「交通安全の誓い」と署名簿を全戸リレーし、市民全員に自覚をもってもらおうと署名をお願いしました。

### 交通安全の誓い

私は、人の生命がもつとも大切であることを考え、交通安全について「交通安全 全

戸リレー宣言文」の内容を実行することを誓い署名します。

昭和六十年九月



### 母親の立場で交通安全を訴える

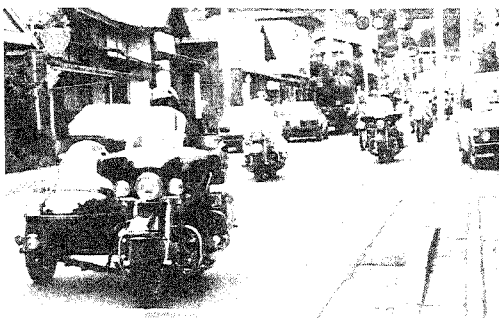
訴える

都留連合婦人会（舟久保久子会長）は、十九日・二十一日の両日、市内の事業所を訪ね、交通安全を訴えるチラシを配布し、安全運転を呼び掛けました。

### 二輪車

### 交通安全パレード

二輪車愛好クラブ「ビッグ



ツイン」を中心に都留警察署から市内幹線道路をパレードして、地域住民に啓蒙を図りました。